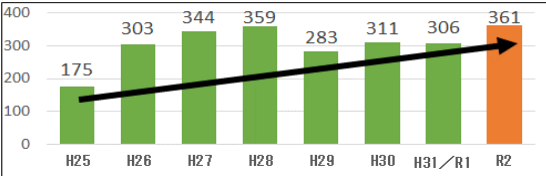




令和4年度 沿岸広域振興局 重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(案) ※確定したものではありません

※【本庁】：本庁事業、【広域】：広域振興事業、【地経費】：地域経営推進費

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考																						
<p>I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災の教訓が伝承されている、災害に強い地域</p> <p>1 復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えま</p>	<p>○ 復興まちづくりの基盤整備 未完成の復旧・復興工事について早期の完成が必要</p> <p>■ 海岸保全施設</p> <table border="1" data-bbox="286 533 927 639"> <thead> <tr> <th rowspan="2">市町村</th> <th rowspan="2">計画箇所数</th> <th colspan="4">完成箇所数(累計)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">完成済(R3.8.31)</th> <th colspan="2">令和3年度末(予定)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>箇所(累計)</th> <th>割合</th> <th>箇所(累計)</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完成施設計</td> <td>44</td> <td>38</td> <td>86.4%</td> <td>41</td> <td>93.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信 あらゆる機会を捉え、教訓の伝承と情報発信</p> <p>■ 沿岸局管内への修学旅行入込数(学校数)</p> 	市町村	計画箇所数	完成箇所数(累計)				完成済(R3.8.31)		令和3年度末(予定)				箇所(累計)	割合	箇所(累計)	割合	完成施設計	44	38	86.4%	41	93.2%	<p>○ 海岸保全施設等整備事業【本庁】(宮古・大船渡土木セ)</p> <p>■ 津波防災施設の復旧・整備</p> <p>事業概要：東日本大震災津波で被害を受けた防潮堤等の津波防護施設の復旧・整備を推進</p> <p>■ 水門・陸閘自動閉鎖化の整備推進</p> <p>事業概要：土木工事の進捗と合わせ、未完成箇所の自動閉鎖化を推進</p> <p>○ 語り部団体の育成支援【地経費】(経営企画部)</p> <p>■ 語り部団体の活動促進</p> <p>事業概要：東北各県や北海道からの教育旅行の増加・定着の推進に合わせ、震災語り部ガイドの活動を支援し、震災の教訓の伝承と情報発信を推進</p>	
市町村	計画箇所数			完成箇所数(累計)																					
		完成済(R3.8.31)		令和3年度末(予定)																					
		箇所(累計)	割合	箇所(累計)	割合																				
完成施設計	44	38	86.4%	41	93.2%																				
<p>2 自然災害に強いまちづくりを進めます</p>	<p>○ 洪水・土砂災害対策や津波災害対策の推進 気候変動に伴い頻発・激甚化している洪水・土砂災害の被害から生命や財産を守るため、早期</p> <p>■ 二級河川鵜住居川(河道掘削)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="304 1238 607 1437"> <p>着手前</p>  </div> <div data-bbox="640 1238 920 1437"> <p>着手後</p>  </div> </div>	<p>○ 河川改修や河道掘削、立木伐採の推進【本庁】(土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 河川改修や河道掘削、立木伐採の推進</p> <p>事業概要：二級河川小本川、気仙川等において洪水浸水対策として河川改修や河道掘削、立木伐採を推進</p> <p>○ 土砂災害、急傾斜地崩壊対策施設等の整備推進【本庁】(土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 土砂災害、急傾斜地崩壊対策施設等の整備推進</p> <p>事業概要：土砂災害による被害から生命や財産を守るため、砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策施設の整備を推進</p>																							

Ⅱ 包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域

3 被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくりま

○ 被災者の健康づくりとこころのケアの推進

高齢被災者は、生活環境やコミュニティの変化、食生活の偏り、外出減少による身体活動量の低下など、健康への影響が懸念され、健康づくりや地域交流の取組を推進することが必要



○ 被災地健康づくり推進事業【地経費】  
(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)

■ 支援機関・団体等と連携した体験交流型講座開催により、被災者の「こころ」と「からだ」の健康づくり及び新しい地域交流の取組を支援

事業概要：体組成計を活用した体験交流型健康づくり講座の開催や被災者支援機関・団体等への健康管理機器の貸与及び活用を支援

5 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます

○ 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備の推進

・東日本大震災津波など度重なる災害により環境活動フィールドや機会が減少  
・各環境団体の安定した活動への支援や、自然環境を守り、次代に引継ぐ取組が必要



○ 沿岸地域環境学習推進事業【地経費】  
(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)

■ 沿岸地区の環境活動団体の活性化、子ども世代等への「岩手の海」の魅力の啓発、環境保全に対する意識の醸成と人材育成

事業概要：三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の貴重な地域資源を活用し、地域の魅力を改めて発見・意識してもらうとともに、海洋ごみなどの地域課題に対する自発的な環境学習活動の取組を支援

[グリーン]

7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます

○ 医療・介護人材の確保支援・資質向上

・医師偏在指標において沿岸圏域は全国平均の半分以下と医師不足が深刻  
・ヘルパー等の介護人材も不足  
・地域を支える医療・介護人材の育成、確保の取組を一層推進することが必要

■ 医師偏在指標(R2.3岩手県医師確保計画)

	釜石	宮古	気仙	岩手県	全国
指数	119.3	113.7	153.1	172.7	239.8
全国順位	326位	332位	250位	46位	-

■ 介護職員の有効求人倍率 (R3.4)

	釜石	宮古	気仙	岩手県
介護職	2.34	1.36	1.12	1.97
全産業	0.89	0.99	1.07	0.98

○ 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化 **一部新規**

【本庁】 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)

事業概要：①医療系職業を紹介するリーフレットの作成  
②医学部進学を目指す高校生等を支援  
③医大生や臨床研修医研修の受け入れ

■ 全職員の勤務環境向上

事業概要：職員の勤務環境向上に向けた研修会及び相談会を開催

[人口減少]

7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます

○ 食生活の改善などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進  
沿岸圏域は、65歳未満の生活習慣に起因する死亡率が高く、働く世代への生活習慣改善の取組強化や健康づくりの取組促進が必要

■ 65歳未満年齢調整死亡率  
(H29-R1の3年平均・人口10万対)

区分	がん	心疾患	脳血管疾患
宮古	46.71	21.23	16.43
釜石	51.43	26.36	20.87
大船渡	53.11	26.24	8.92
岩手県	45.17	18.21	13.21

○ 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進【本庁】【地経費】  
(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)

■ 働く世代の体験型・参加型健康づくり応援事業

事業概要：①体験型健康づくりチャレンジ事業を実施  
②参加企業の取組継続を支援  
③健康経営優良取組事例紹介等により取組拡大を推進

■ 健康づくりを实践しやすい食の環境整備事業

事業概要：①スーパーマーケットや弁当業者への「健康に配慮した弁当・総菜」提供を支援  
②テイクアウトを行う飲食店に対する栄養成分表示の取組を支援

[人口減少]

8 スポーツ・文化を楽しみ、一人ひとりが豊かな生活を送ることができる活力あふれる地域をつくりまします

○ スポーツ施設や自然環境を活用したスポーツ活動の活性化  
ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックによるスポーツへの関心の高まりを活かした更なるスポーツ振興の推進が必要

■ 東北エクストリームフェス (BMX)



○ スポーツを活用した沿岸地域の活性化【地経費】 **一部新規**  
(文化スポーツ担当特命)

■ スポーツを活用した三陸活性化事業

事業概要：他の地域資源と連携し、相乗効果を生み出す先導的な取組の公募による、モデル事業を実施

■ プロスポーツチームと連携した「ラグビー県いわて」の推進

事業概要：イベント開催への協力等釜石シーウェイブスRFCとの連携を推進

■ 日本スポーツマスターズ2022岩手大会への支援

事業概要：大会の広報活動や、大会参加者への観光情報等の提供により交流人口の拡大を推進

[人口減少]

Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域

○ 事業効果の大きな水産加工業を支援し、経営の安定・拡大を推進

・水産加工事業者の多くは、自社の強みを生かした競争力のある製品生産、消費者ニーズを反映した製品の開発・生産という視点が弱く、市場分析や積極的な経営が出来ていないことから、経営力強化支援が必要

○ 三陸水産加工業経営支援事業

■ 水産加工業の経営力強化の支援【広域】 **新規** (産業振興室)

事業概要：中小企業基盤整備機構の支援メニューを活用し、水産加工事業者が抱える様々な経営課題の解決に向けて、課題解決のサポートを実施

[重点]  
[人口減少]



9 生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます

・多くの企業では学生への訴求力が弱く人材確保ができておらず、中長期的な戦略経営展開のためには、食品開発やマーケティングなど専門的な知識を習得した人材が必要  
 ・中小水産加工業の取引先である飲食・宿泊業者等は厳しい環境下であり、事業継続ができるよう経営改善支援を行い、水産加工業者との取引を継続、拡大させることが必要

■2020年圏域内主要業種別製造品出荷額及び従業者数(大企業除く ※2)

	製造品出荷額		従業者数	
	単位:万円	全体比	単位:人	全体比
圏域内計	19,824,961		9,950	
食品製造業	9,011,975	47.87%	4,289	43.11%
木材木製品製造業(家具を除く)	2,898,000	15.39%	907	9.12%
窯業土石製品製造業	1,510,405	8.02%	599	6.02%
金属製品製造業	850,688	4.52%	704	7.08%
生産用機械器具製造業	655,352	3.48%	581	5.84%
電子部品デバイス電子回路製造業	631,715	3.36%	542	5.45%

※1 上位6業種を抜粋

※2 大企業とは、日本製鉄、SMC、太平洋セメント、東北ヒロセ電機

※3 出典：2020年岩手県の工業

■ 専門人材確保の支援【広域】 **新規** (産業振興室)

事業概要：大手学生向け就職情報サイト運営企業や大卒採用の経験のある水産加工業者と連携し、専門人材確保に係るセミナーの開催や情報サイトへの企業情報掲載を支援

■ 水産加工業取引先等の支援【広域】 (産業振興室)

事業概要：地元の飲食・宿泊・小売事業者等の企業経営に関する支援を実施し、水産加工業との取引の継続や拡大を支援  
 また、取組の効果を高めるため、商工団体等の支援機関等と連携し、各事業者の強みや各種ツールを共有・活用しながら伴走支援を実施

[人口減少]

[人口減少]

○ 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上

若年層の新規就業の割合が低調であり、次世代への技術の継承などに支障があることから、安定的な担い手確保が必要

○ 地域の建設企業の担い手確保、労働環境の整備、技術力・生産性の向上【本庁】 (土木部)

■ 施設の維持管理や災害発生時の対応を担う建設業の担い手育成

事業概要：①関係機関と連携し、担い手確保対策を検討  
 ②高校生等を対象とした現場見学会を開催

[人口減少]

10 働く場の創出と地域に就業・定着できる環境づくり

○ 働く場の創出と地域に就業・定着できる環境づくり

沿岸圏域の若年者は、地域の産業振興を担う人材となることが期待されており、地元企業の周知による地元定着の推進と採用後の企業人材の育成・定着の推進が必要

■管内就職率 (単位:%)

	R3年3月	R2年3月	H31年3月
管内計	56.5	47.3	54.5
宮古	48.9	38.2	44.3
釜石	68.1	57.1	61.9
大船渡	68.6	54.3	62.4

○ 若者定着及び地域産業人材育成事業【地経費】 **一部新規** (産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)

■ キャリア教育による若年者の定着

事業概要：地域企業の見学会や企業による出前授業、若手社員との交流等を組み合わせ、地元企業の理解醸成の促進と若年者の圏域内就職率の向上を推進

■ 三陸地域の産業を担う人材の育成

事業概要：次世代の生産現場のリーダー育成のため、地域の企業と連携し、地元中小企業の若手技術者を対象とした人材育成研修を開催

■ 潜在的な労働力の掘り起こしや多様な形態の就業の促進

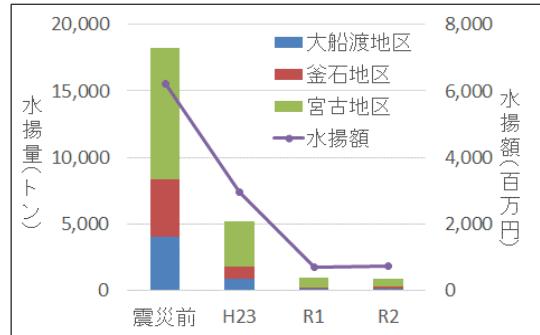
事業概要：いわて女性活躍企業等認定及びいわて子育てにやさしい企業等認定を促進

[人口減少]

11 漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします

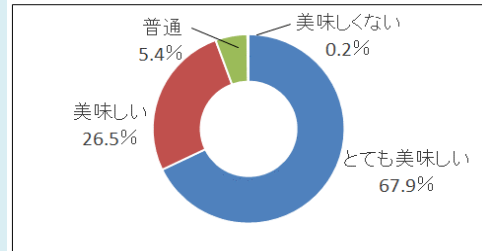
○ 漁業の生産量回復・生産性向上  
 ・海洋環境の変化等により、主要魚種の漁獲量が減少し、特にサケの令和2年度の水揚量は震災前の1/20に減少  
 ・水揚量の回復に向けたサケやアワビ等資源量の回復、沿岸漁場の有効活用に向けた生産体制構築、養殖技術の導入等の生産性向上や生産量の回復対策が必要

■管内魚市場のサケ水揚量・水揚額



○ サーモン事業の拡充  
 ・サーモン類の海面養殖が事業化され新たな養殖業として期待が高まっているが、本県ではこれまで、魚類養殖は殆ど実施されていないことから、海面環境に応じた養殖技術の開発が必要  
 ・令和3年度に実施した県産サーモンのアンケート調査において、94.4%が美味しいと回答したが、県内でのサーモン類生産の認知度は低い  
 ・刺身用商材としての流通のみでは需要に限られることから、加工品の開発、観光振興とタイアップした新商品等の開発が必要

■県産サーモンの味の評価結果



○ 養殖業の生産性向上・生産量回復対策【本庁】  
 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)

事業概要：漁協・漁業者の生産規模の拡大、生産性向上及び漁協自営養殖の実施など新たな生産体制の確立を支援

事業概要：生産量の安定化を図るため、県内産種苗の確保を支援

○ サケ・アワビ等の資源回復対策【本庁】  
 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)

事業概要：サケ資源の早期回復を図るため、健康な種苗の確実な確保と適期・適サイズ放流を支援

事業概要：アワビ資源の回復及びウニ資源の適正管理を図るため、藻場回復対策等の実施を支援

○ 県産サーモン養殖確立支援事業【広域】 **新規**  
 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)

[重点]

■ 養殖生産効率化技術開発事業  
 事業概要：持続的なサーモン類養殖を実現するため、岩手大学と連携し、飼料の給餌の効率化や海水適応能力の向上等の効果的な養殖技術を開発し、県内サーモン類養殖経営体への普及

■ いわて県産サーモンPRキャンペーン事業 **新規**  
 事業概要：県産サーモンの販路確保のため、県内量販店及び飲食店において、PRキャンペーンを実施するほか、県産サーモンの市場性評価を実施

■ いわて県産サーモンの加工品等の開発支援事業 **新規**  
 事業概要：サーモンの高次加工に係る加工業者を対象とした講習会を開催するとともに、加工業者と連携した新商品または新メニューを開発し、消費拡大を促進

11 漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします

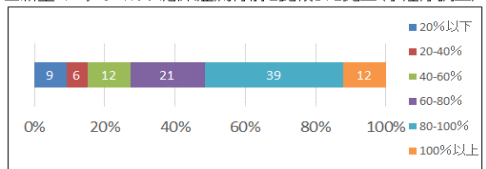
○ 漁業担い手の確保・育成  
 ・平成30年の管内就業者数はこの10年で36%減少し、65才以上の割合が44%まで上昇  
 ・地域漁業の情報発信等による新規就業者の確保や経営規模拡大等の中核的漁業経営体の育成が必要

■管内漁業就業者数及び65歳以上の割合推移

	H20	H25	H30	H30/H20
漁業就業者数(人)	8,276	5,091	5,295	64.0%
65歳以上の漁業就業	36.9%	35.3%	44.4%	120.3%

漁業センサスデータ

○ 水産物の付加価値向上・販路拡大  
 ・水揚量減少による原料高騰等により加工業者の8割で業績が停滞。また、外食産業を中心に需要が低迷し88%の加工業者で売上げが減少  
 ・加工原料確保や付加価値向上対策、新しい生活様式に対応するため、ECサイト販売等の販売力



○ 新規漁業就業者の確保【地経費】 **一部新規**  
 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)

■ 漁業の魅力向上・発信事業  
 事業概要：新規漁業就業者の確保を図るため、地域漁業の情報発信や受入支援体制を構築

■ 明日の浜人発掘事業(宮古水産振興セ)  
 事業概要：宮古水産高校の認知度向上(入口対策)、卒業生の地元水産業への就業支援態勢準備(出口対策)を推進

[人口減少]

○ 加工原料確保・付加価値向上対策【地経費】 **一部新規**  
 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)

■ 水産加工業収益向上事業  
 事業概要：水産加工業における安定した原料確保及び製品の高付加価値化等の取組を促進

■ いわて三陸水産物魅力発見・創造・発信事業  
 事業概要：三陸産水産物の魅力発信を強化し、ブランド化を推進

○ 販売力強化対策【地経費】 **一部新規**

■ 水産物販路拡大事業  
 事業概要：ECサイト等の利活用による販路の多角化や拡大に向けた取組を支援

[DX]

12 地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業を盛んにします

○ 地域特性を生かした農林産物の産地力向上  
 ・主要園芸品目は、生産者が微増。担い手の規模拡大等もあり栽培面積は拡大傾向  
 ・畑わさびは、生産者の減少に伴い栽培面積が減少。新規生産者等の確保、規模拡大と地域全体の収益性向上が必要  
 ・原木しいたけは出荷制限を契機に生産者の多くがリタイアし生産規模が縮小。高価格化等の取組、新規参入者確保による産地の再構築

■釜石地方新規就農確保・育成事業



■畑わさび産地創造事業



○ 主要園芸品目、畑わさび、原木しいたけの生産拡大

■ スマート農業総合推進対策事業【本庁】  
 ■ いわて地域農業マスタープラン実践支援事業【本庁】  
 ■ 農業農村関係人口拡大定着支援事業【本庁】

事業概要：新規就農者の確保や農林水産業・農山漁村の関係人口拡大に向け、地域の農業・農村に関する情報発信、移住希望者等を対象とした農村体験ツアー等を実施

■ 釜石地域中山間集落育成モデル事業【地経費】(農林部)  
 事業概要：多様な担い手の育成、中山間地域の農地・集落の維持等の取組を支援

■ 活力ある畑わさび産地創造事業【地経費】(宮古農業普及セ)  
 事業概要：新規生産者の確保や若手農家の規模拡大の取組を支援

■ いわて三陸原木しいたけブランド化促進事業【地経費】(宮古農林振興セ)  
 事業概要：原木しいたけの産地力向上に向け、販売促進や生産者の技術力向上の取組を支援

[DX]

[人口減少]

[人口減少]

[人口減少]



13 豊かな森林資源を生かした林業・木材産業を盛んにします

○ 意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備  
 ・森林経営管理制度施行により整備促進が期待されているが、収益性の不安から、間伐等の取組が低調  
 ・各種取組や支援制度等の普及啓発・森林整備の重要性への理解醸成など、造林・間伐に向けた意欲喚起が引き続き必要

■間伐実績

区分	H28	H29	H30	R1	R2
釜石	374ha	304ha	220ha	191ha	248ha
宮古	700ha	709ha	596ha	768ha	712ha
大船渡	353ha	282ha	431ha	354ha	356ha
局計	1,427ha	1,295ha	1,247ha	1,313ha	1,316ha
県計	5,184ha	4,446ha	4,010ha	4,124ha	4,210ha

○ 持続的な森林資源の確保に向けた森林整備の促進 **一部新規**

- 森林環境保全直接支援事業【本庁】
- いわて環境の森整備事業【本庁】
- 造林木シカ被害対策実証事業【地経費】（大船渡農林振興セ）

事業概要：シカ被害の低減に資する初期育林技術の実証と低コスト造林技術の普及を推進

[グリーン]

14 多様な資源と新たな交通ネットワークを生かした観光産業を盛んにします

○ 復興道路等開通による交通利便性向上の周知、全国的に注目を集めている三陸地域等との連携強化による三陸沿岸への誘客拡大の推進

県外震災伝承施設・遺構やドラマ等の影響で注目が集まる南三陸、沿岸北部の既存観光資源を結ぶ地理的条件を十分に活かし、各地域と連携した誘客の拡大を推進する必要がある

■復興道路の時間短縮効果（国土交通省）

	整備前	開通後	短縮時間
八戸-宮古	3:07	1:44	1:23
宮古-仙台	5:28	3:29	1:59
盛岡-宮古	1:45	1:15	0:30

■管内市町村別入込客数（延べ人数）

	H22年	H30年	R1年	R2年	前年比	H22年比
圏域計	5,824	4,123	5,349	3,350	62.6%	57.5%

○ 三陸観光推進リスタート事業【広域】 **一部新規**（産業振興室）

事業概要：①仙台圏や近県のタウン誌等に観光PR情報を掲載  
 ②教育旅行誘致に係るプロモーションを実施

事業概要：①大都市圏からの旅行商品の造成・催行支援による国内の誘客促進  
 ②情報発信サイトを活用した観光・物産情報発信による海外誘客促進

[重点]  
[人口減少]

15 整備が進む社会基盤を産業振興に生かします

○ 物流の高度化に向けた港湾機能の強化とポートセールスの推進

・東日本大震災津波で被災した港湾機能は平成29年までに復旧が完了し、三陸沿岸道路の開通による沿岸圏域における物流効率化が進展

・港湾施設や道路の整備を契機とした港湾の更なる利活用促進、港湾整備と観光・産業振興との横断的な取組が必要

■コンテナ貨物取扱数（実入り）の推移

	H30	R1	R2
釜石港	5,452	6,782	5,737
大船渡港	1,854	2,773	2,388

○ 利用者のニーズに応じた港湾機能の充実【本庁】  
 （土木部、宮古・大船渡土木セ）

- 港湾の整備と利活用の促進

事業概要：仮貯蔵所等の整備による物流機能の強化を推進

- 港湾の利用促進に向けたポートセールスの推進

事業概要：港湾を活用した産業振興を促進するため、国や市と連携した荷主企業等へのポートセールスを実施